市長からの手紙

天理市長　南　佳策

Vol.120

節分間近の平成25年１月29日、苣原町産業廃棄物（安定型）最終処分場の設置許可について、奈良地方裁判所は原告の訴えを「却下」。原告が控訴を行わず、取消処分が確定しました。訴訟で当事者になられた県当局の適切なご判断とその結果に、心から感謝のひと言です。

振り返ると平成10年６月、事業者から設置許可申請書の提出以来10数年に及ぶこの問題の解決に、天理の環境と命を守る会（現・山口福雄会長）を軸に天理市民が一丸となり、天理市政上で特筆される出来ごとです。

今後も環境問題も含め大切な天理のまちづくりをすすめたいですね。

▲収穫祭に集まった皆さん

◎がんばる「いきいき百歳天理」

○“集落の農地は、集落で守る”南檜垣営農組合

さまざまな課題に当面する日本の農業。こうした中で柳本の南檜垣では平成14年に麦作組合（松井義憲・組合長）を結成、翌15年には営農組合に、平成18年には農事組合法人を設立して現在に至っています。

参加戸数25戸（35人、うち女性グループ13人）が、遊休農地解消・活用モデル事業（県）への取り組み、環境に配慮した農業の実践、独自ブランドみそ加工販売（卑弥呼みそ）など、国が推奨している６次産業化にもいち早く取り組んでいます。

また、平成24年度に国が導入した「人・農地プラン作成」についても、これに先駆け、標題の合言葉で事業を展開しています。市としてもできる限り支援していきたいと考えています。

○百歳長寿者

２月の中旬、市内で満百歳を迎えられた方がたに、お祝いの挨拶をしてきました。

川原城町	山上亀次郎さん	大正２．１．21	男
乙木町	近藤豊子さん	大正２．２．５	女
蔵之庄町	茅原ひろさん	大正２．２．15	女

お三方とも私としっかり握手を交わしながら、笑顔の中での会話など、うれしいひとときでした。

○10年目を迎えた「天理っ子」育成推進運動

２月23日、市文化センターで「あいさつで広がる人の輪、心の輪」の育成推進運動全体集会が行われ、協賛団体の会員約150人が参加しました。

記念講演は、三輪山平等寺副住職そして空手家でもある丸子孝仁さん。人の絆づくり、つまり人間関係の中で生まれる差別をなくすための取り組み、またハンセン病を体験された人の話を語られたとき、丸子講師が壇上で涙されていた様子に、多くの聴衆が心うたれたようです。

○「奈良の贈り物」に天理から２商品

県では県産の材料を使いデザインも工夫し、高品質で重宝される商品の開発に取り組んでいますが、このほど10社の食品、工芸品に認定証が交付されました。

そのうち天理市のまちづくり団体「まほら座」（伊藤良次・代表）の子福利餅（こふくりもち）、丸山繊維産業(株)のふすま地ブックカバーが選ばれました。

県からは「これからも努力をかさね、県内外に定着してほしい」と励ましを受けています。

危険物漏洩（ろうえい）事故の防止に関する注意喚起について

今年２月に少量危険物施設やボイラー施設における、河川などへの危険物漏洩事故が発生しました。

業務用給湯機器を使用される事業所や、石油式給湯ボイラーを使用される一般家庭では、本体や配管及び燃料タンクからの漏洩や、暖房器具への燃料補給中の漏洩などの事故を防ぐため、つぎの事項についてご注意ください。

（一）取扱説明書をよく読んで、正しい使用方法を確認すること。

（二）使用が終われば、燃料コックを閉めること。

（三）屋外の機器・設備は、日頃から点検・清掃をすること。特に台風・地震・突然の豪雨・積雪後は、異常がないか確認をすること。

（四）暖房器具への燃料補給の際は、スイッチを切って、補給中はその場を離れない。

※事業所におかれましては、以前より地下タンク・地下埋設配管に対する漏洩の注意喚起を行ってきましたが、今回露出配管からの漏洩事故が発生していますのでご注意ください。なお、漏洩事故が発生した場合は、至急消防署へ連絡してください。

▲配管から漏洩

▼ 土壌を掘り下げた状態

▲河川への流出（中央）

◆問い合わせ　天理消防署予防係（☎６２―３３２２）へ